



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 臨床研修部 村田桜子

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床研修部 村田桜子

【指導医】

聖路加国際病院 集中治療科 岡本洋志

当院の救急外来でアセトアミノフェン点滴を投与された方の 血圧低下に関する研究

1.研究の対象

2020年4月-2022年3月までに当院の救急外来でアセトアミノフェンの点滴製剤（アセリオ[®]）を投与された方

2.研究の目的・方法

アセトアミノフェンの点滴製剤（アセリオ[®]）は、発熱や痛みを訴える患者さんに対してしばしば使用されています。アセトアミノフェンの有害事象の一つとしては血圧低下があり、海外からの報告では、特に感染症などの基礎疾患のある患者さんではその頻度が高いことが指摘されています。しかし、本邦においても同様の関係があるかどうかは明らかではありません。本研究では、アセトアミノフェン点滴に伴う血圧低下の頻度とそのリスク(基礎疾患など)との関係を調査することを目的としております。なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2023年2月までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 患者背景（年齢、性別、身長、体重、基礎疾患[高血圧・糖尿病・脂質異常症・慢性腎臓病など]）、意識レベル、体温、血圧、脈拍数、呼吸数、疼痛スコア、血液検査、同日に救急外来で使用した薬剤、対象患者の最終診断名、嗜好、PCR検査（COVID-19）、等